

## < 広島市 様 >

次の標記中、すべて 40～69 歳（子宮のみ 20～69 歳）を対象とした値です。

受診率の算定については、平成 27 年度より各市町における対象年齢全人口に変更になっています。

また、胃がん検診については、平成 28 年度より胃内視鏡検査が導入され、50 歳以上 2 年に 1 回となりました。

✿ 胃がん検診：受診率は、平成 27 年度と比較し 4.0→6.2%に上昇しています。精検受診率も、平成 26 年度と比較し 69.3→78.0%に上昇しており、許容値に入りました。特に集団検診の精検受診率が 78.6→90.4%に伸びています。未把握率については、30.6→21.7%に改善傾向を認め、集団検診・個別検診共に改善しています。  
胃がんの罹患率は、広島県の男性 1 位、女性 3 位です。死亡率は減少傾向ですが、引き続き受診率、精検受診率向上に努めましょう。

✿ 大腸がん検診：受診率は、平成 27 年度と比較して、7.6→6.7%に増悪傾向を示しています。精検受診率は、平成 26 年度と比較し 61.4→68.1%に上昇し、未把握率も 37.7→30.4%に改善しています。大腸がんは、がんの部位別死亡率 男性 3 位、女性 1 位になっています。精密検査は、時間も費用もかかりますが、早期発見・早期治療の必要性を PR するとともに、高齢者にもわかりやすい情報提供など広報に工夫をしましょう。

✿ 肺がん検診：受診率は、平成 27 年度と比較して、7.4→6.8%に下降しています。精検受診率は、平成 26 年度と比較し 59.3→66.3%に上昇し、未把握率も 40.3→32.6%に改善しています。肺がんは、がんの部位別死亡率 男性 1 位、女性 2 位です。対策型検診の中では、5 年相対生存率は一番低くなっています。

✿ 子宮頸がん検診：受診率は、平成 27 年度と比較して、18.5→17.7%に下降していますが、広島県平均を上回っています。精検受診率は、平成 26 年度と比較し、58.4→65.0%に改善しており、許容値まであと少しです。未把握率も、41.5→34.0%と改善を認めます。個別検診からの未把握が課題です。

✿ 乳がん検診：受診率は、平成 27 年度と比較して、18.8→14.9%に下降しています。精検受診率は、平成 26 年度と比較し 76.4→78.3%に上昇し、未把握率は 23.4→21.0%に改善傾向です。今後も個別検診からの精検対象者の追跡について工夫が必要です。

「めざそう！未受診+未把握＝10%以下」

公益財団法人広島県地域保健医療推進機構 総合健診センター

〒734-0007 広島市南区皆実町 1 丁目 6-29

電話 082-254-7155 Fax 082-254-7177